

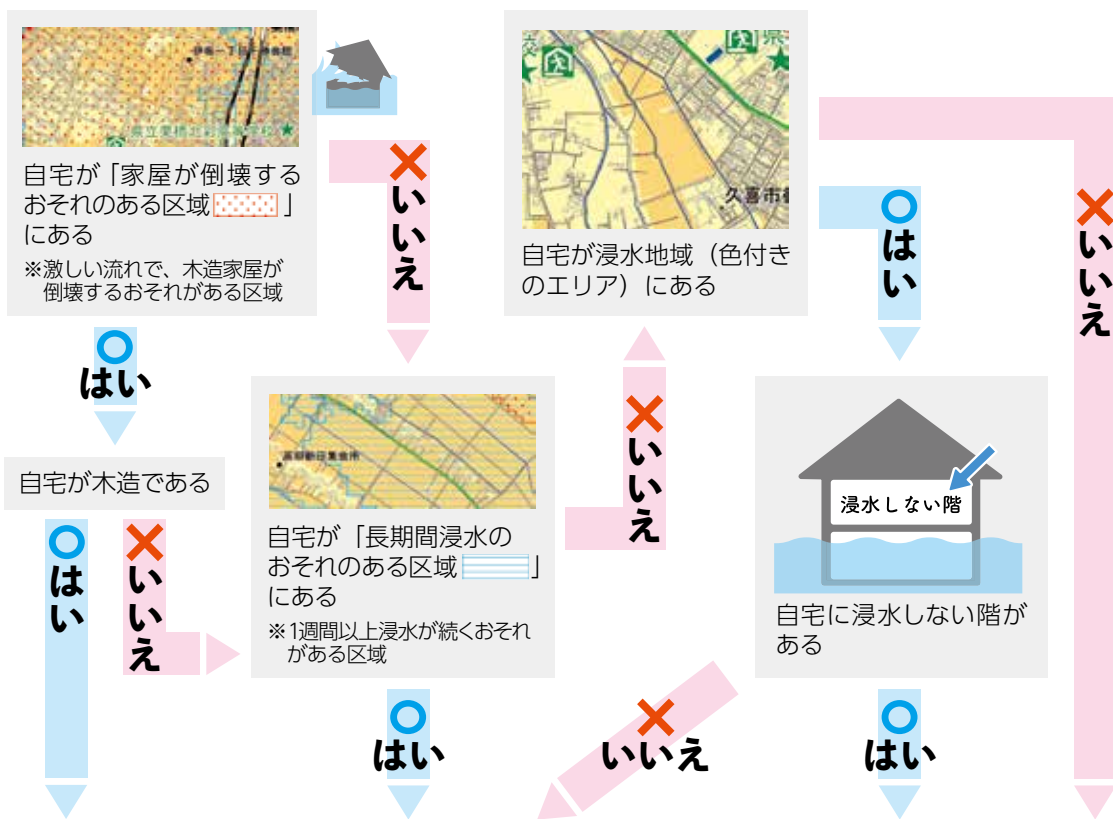
point 2

避難の判断・方法



自宅の浸水リスクを確認したら、フローチャートを参考に避難方法を考えましょう（フローチャート内の地図は洪水避難決断ブックより）。
 コロナ禍においては、3密を避けるため、市が開設した避難所だけに人が集中しないよう、「分散避難」が前提です。

START



避難所だけが、避難場所じゃない。
 分散避難を前提に、適切な避難を。

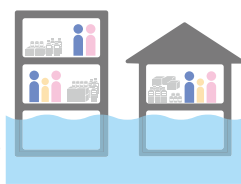
親戚・知人宅等避難

行政からの避難情報を待つことなく、浸水のおそれがない家族・親戚・知人の家やホテルなどへ避難します。日ごろから避難先を検討し、連絡しておきましょう。



在宅避難

自宅で避難可能です。戸建てなどで浸水する階がある場合は、浸水しない階へ移動します。浸水は長期間続く場合があるので、十分な備蓄品を準備しましょう。



親戚・知人宅等避難、在宅避難が難しい場合や、不安を感じる場合

避難所へ避難

風雨が強くなる前に避難しましょう。各自である程度必要な備蓄品・携行品を持参してください。また、浸水後は無理に避難すると危険です。避難のタイミングは、洪水避難決断ブックなどを参考に、事前に考えておきましょう。

